

沖縄初上映！ この機会をお見逃しなく！！ 親子でご参加ください

上映会 & 防災講演会



防災啓発ドキュメンタリー映画

いつか君の花明かりには

愛着ある町、親しい友人、大好きな家族の大切なものを守るために、防災はしたくなる

無料

豊見城市中央
公民館大ホール

11.20(水)

開場 18時30分

19:00 - 20:30

岩手県陸前高田市の津波到達地点に桜を植える活動を行なっている「認定NPO法人 桜ライン311代表・岡本翔馬氏」や、宮城県・熊本県の二か所にて災害を体験した「歌うママ防災士・柳原志保氏」を中心とした防災を願う人々の声を集めた防災啓発ドキュメンタリー

映画を観た人の声

私は今まで「自分の町は大丈夫」「災害が起きても何とかなる」と心のどこかで思っていました。しかし、今回のドキュメンタリー映画を見て、このような考えを捨てるのが一番最初の防災対策なんだと感じました。大切な家族や友人の命を守るためにも、これからは時々でも考えながら過ごしていきたいです。(10代・女性)

自分の町が大好きなのに、守ろうとしていない自分たちを情けなく思いました。食べ物や場所でしか魅力を伝えようとしていない自分たちを恥ずかしく思いました。防災を誇れる町の方が絶対にかっこいい。自分も何かできること、がんばりたいです。(10代・女性)



講師 小川 光一
(共同監督)

1987年5月29日生まれ。作家・映画監督。国際支援や防災教育を中心に国内外にて活動中。日本唯一の「映画を作ることのできる防災専門家」として、全47都道府県にて講演経験あり。アフリカ支援NPO MUKWANO サポートメンバー。NPO法人 桜ライン311 理事。日本防災機構認定防災士

主催： 沖縄県社会教育委員連絡協議会 島尻地区社会教育委員連絡協議会
共催： 豊見城市青少年育成市民会議 豊見城市教育委員会
後援： 豊見城市女性会、豊見城市子ども会育成連絡協議会、豊見城市PTA連合会

問い合わせ： 豊見城市立中央公民館 ☎ 098-850-3280 (原國)

プリズン・サークル

ぼくたちがここに
いる
本当の理由

取材許可まで6年、撮影2年——
初めて日本の刑務所にカメラを入れた
匠巻のドキュメンタリー

無料

過熱する犯罪報道、
厳罰化を叫ぶ声——

上映会・講演会

けれどわたしたちは、この国の「罪」と
「罰」について多くを知らない。

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC(Therapeutic Community=回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分はここにいるのか、いかにして償うのか？彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。(公式HPより)



講師

名城 健二 氏

(沖縄大学 教授)

演題

**「愛着理論から非行少年の
心理や支援方法を考える」**

青少年の精神保健福祉に造詣の深い名城教授を講師に迎え、「愛着理論」を足掛かりとして、青少年の非行防止や支援のために地域にできることは何かを考えます。



【主催】豊見城市青少年育成市民会議
【共催】豊見城市教育委員会

日時：令和6年12月7日（土）13：00 開場
13：30 開始
場所：豊見城市立中央公民館 大ホール

豊見城市青少年育成市民会議事務局（生涯学習振興課）TEL：098-850-3280